

銀行名	南都銀行
タイトル	取引先企業のアセアン展開支援イベント開催
取組内容	<p>【イベント概要】</p> <p>当行主催で平成25年11月に開催したビジネスマッチングフェア(大阪市内)において、取引先のアセアン展開支援を目的に特別コーナー『アセアン展開 NAVI プラザ』を設置し、個別相談会ならびにセミナーを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アセアン各国の工業団地を紹介するブースを設置し個別相談に対応 タイ・ベトナム・インドネシア・フィリピン・ミャンマー・カンボジアの工業団地の斡旋を手掛ける大手商社等による個別相談会を実施 ・ 業種別(食品・製造・アパレル)セミナーによる情報提供 国別セミナーが主流である中、「食品」・「自動車部品・電気・機械等の製造業」・「アパレル」の3業種について、業種別にセミナーを実施 <p>【開催の背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国の人的費上昇や景気減速に加え、尖閣問題等による日中関係の悪化を受けた日系企業の中国戦略の見直し ・ 2015年アセアン経済統合を背景に日系企業の関心の高まり等 <p>【イベントの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地工業団地を紹介することで取引先の海外進出検討の具体的な判断材料を提供。また、セミナーでは業種別に最適な進出候補国を紹介することで、取引先に対しアジア進出検討を始める機会を提供。 ・ 今後、アセアンへの派遣行員および当行の有する海外ネットワーク等を活用し、取引先のアセアン進出時のサポートをより積極的に展開。

銀行名	南都銀行
タイトル	金融機関協調リファイナンスによる事業再生支援
取組内容	<p>【動機(経緯)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先 A 社は、地域で有数の建設業者。 ・業容拡大のため新規プラント建設に着手したものの、設備稼働に関する許認可取得が当初予定より遅延。不稼働期間中の新規設備に関する経費負担が増加し赤字となる。 ・収益管理や営業活動に関する体制が確立されないままで経営を行っており、経営体制の確立が急務であった。 ・また、他行から調達していた借入金(設備資金)について弁済期日が到来するためリファイナンスが必要となっていた。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善計画立案および金融機関調整を目的とし、中小企業再生支援協議会に支援を要請。 ・協議会関与の計画に基づき、全行がリスクスケジュールに応じるとともに、当行が運転資金対応を実施。また、経営管理体制の構築のため、当行より人員を派遣。 ・他行から調達していた借入金について当行と政府系金融機関が協調で、動産担保融資、資本性借入金を導入しリファイナンスを実施した。 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の関与により経営陣の経営改善に対する認識が変化し、経営改善施策の履行が迅速に行われた。 ・部門別収益管理体制が構築され、高収益部門へシフトした結果、収益状況が改善し黒字転換となった。また、営業体制の確立による大手企業からの受注実績が、更なる新規受注に繋がり好循環となった。 ・金融機関協調のリファイナンスにより、設備資金として長期の安定調達が可能となった。

銀行名	南都銀行
タイトル	金融経済教育への取組み ～ 養護学校への講師派遣・職場実習
取組内容	<p>【動機・経緯】 奈良県等と協力し地元企業として、障がい者雇用の支援等を強化するため実施</p> <p>【取組み内容】 当行の金融経済教育の取組みの一環として、地元養護学校に対し以下のような取組み（講師派遣や職場実習の受け入れ等）を行った。 養護学校への講師（行員）派遣による出張授業 ビジネスマナーや金融経済等に関する講義の実施 関連会社での職場体験実習 行内メール便、郵便物発送等の体験実習 当行関連行事（顧客への「経営説明会」）における職場体験 来場客の受付業務等を行員とともに体験</p> <p>【取組みの効果】 ・ 仕事を通じ社会とつながっていることや、「働く」という意味、その他、銀行業務について学ぶことができたと参加者側から高い評価をいただいた。 ・ 26年度は新たな取組みとして、「銀行の利用の仕方」について営業店窓口等での学習に協力させていただくことになった。</p>